

住みよい高砂・南地区のまちづくり

南地区勉強会ニュース

第1号 平成23年12月

安全で住みよいまちづくりに取組もう！

南地区勉強会がスタート！

高砂地区開発協議会では、「開かずの踏切」の解消に向けて、京成本線（京成高砂駅から江戸川駅間）の鉄道立体化と、高砂駅周辺のまちづくりを進めるため、様々な取組みを行なっています。

平成17年度からまちづくりの検討を始め、アンケート調査やまちづくり報告会などを通じて地域の皆さんのご意見をいただきながら、「高砂駅周辺まちづくり基本構想・まちづくり方針」をとりまとめ、葛飾区に提案しました。

これからは、高砂地区全体のまちづくりの考え方を踏まえ、個別の地区ごとの具体的なまちづくりを、皆さんと一緒に考えていく必要があります。

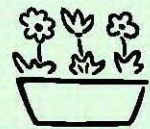
そこで、平成23年10月に高砂南町会の推薦を受けた方と応募していただいた方から委員を構成して、地区にお住まいの方々による勉強会を発足しました。

★まちづくりを検討する「南地区」の区域

南地区勉強会で検討する範囲

高砂2丁目 26～32番

高砂3丁目 1・2番、26～32番



発行元：高砂地区開発協議会 会長 本田幸一

協力：葛飾区都市整備部街づくり推進課高砂地域整備担当

(担当：野澤・竹内・飯田)

電話 03-5654-8344 (直通) 03-3695-1111 (内線 3412)

ファックス 03-3697-1660

〒124-8555 葛飾区立石 5-13-1



南地区のまちづくり・Q&A

まちづくりや鉄道立体化など、皆様のご質問にお答えします。

鉄道立体化は、今、
どんな状況ですか？



京成高砂駅から江戸川駅間は、平成20年6月に、東京都において、鉄道立体化の事業化を目指す「事業候補区間」5区間のうちのひとつに選ばれました。平成21年度から、東京都によって、連続立体交差事業の調査が行われています。

鉄道立体化とまちづくりは、
どうして関係があるのですか？

連続立体交差事業には、莫大な費用がかかります。事業効果を上げるために、まちづくりを一緒に行うことが国や東京都から求められています。

なぜ、南地区で勉強会が
発足したのですか？

南地区は駅から少し離れた、静かで住みよい住宅地ですが、道路が狭く消防車が入れない、公園が少ないなどの問題を抱えています。開発協議会が実施したアンケート結果でも、住みよい住宅地として、住環境と防災性の向上を図ることが、地域の皆さんから求められていることから、勉強会を発足しました。

高砂地区開発協議会と
勉強会は、どんな構成
になっていますか？

開発協議会と勉強会の構成

〔開発協議会とは〕

- ・開発協議会は、各町会・商店会の委員で構成されており、平成14年度から、高砂駅周辺の「開かずの踏切」の解消に向けた広範囲な運動を行っています。

〔まちづくり委員会とは〕

- ・鉄道立体化の実現には駅周辺のまちづくりが必要であることから、平成17年に開発協議会の下部組織として発足し、高砂のまちづくりの方向性や基本的な考え方、具体的なイメージの検討、まちづくりの普及・啓発活動に取り組んでいます。

〔南地区勉強会とは〕

- ・南地区勉強会は、高砂南町会3部、8部の方で町会から推薦を受けた方と、応募していただいた方の合計20名で構成されています。

<自治町会>

高砂南町会
高砂北町会
団地自治会
住吉自治会
鎌倉自治会

<商店会>

高砂商店会
高砂南商友会
住吉商店会
エビス通り商店会

地元団体で発足

各団体が推薦する
委員で構成

地区に関する団体が
推薦する委員、応募
頂いた委員で構成

高砂地区開発協議会(平成14年度～)

まちづくり委員会(平成17年度～)

駅周辺地区勉強会(平成23年度～)

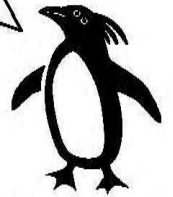
南地区勉強会(平成23年度～)



★第1回勉強会の様子

第1回勉強会（平成23年10月26日開催）は、事例視察として開催しました。31人の皆さんが参加し、西武池袋線石神井公園駅周辺と、東池袋駅周辺のまちづくりを視察しました。

サンシャイン水族館にも立ち寄りました！



①西武池袋線石神井公園駅周辺のまちづくり(練馬区)



石神井公園駅周辺地区では、鉄道連続立体交差事業や都市計画道路、南口の交通広場の整備により、まちをめぐる状況が大きく変わりつつあります。そのため、平成15年に「石神井公園駅周辺地区まちづくり全体構想」を策定し、立体交差事業等の進捗をふまえた、段階的なまちづくりを進めています。

←石神井公園駅北側から見た駅舎

②東池袋駅周辺のまちづくり(豊島区)

東池袋はサンシャイン60をはじめとする超高層の商業・業務ビルなどが建ち並ぶ一方、老朽建物が密集するまちも形成されています。東池袋4、5丁目を中心に、密集市街地の改善や都市計画道路の整備など、安全で住みよいまちづくりが進められています。



↑東池袋は都電荒川線が走るまち

★第2回勉強会の様子 これまでの協議会活動の振り返りとワークショップ

第2回勉強会（平成23年11月18日開催）は、高砂地区センターで開催されました。

当日は、高砂地区開発協議会のこれまでの活動について振り返るとともに、2つのグループに分かれて、まちのよいところ、改善したいところについて話し合いました。

葛飾区からは、東京ガス社宅跡地を公園にするために、土地所有者と用地取得の交渉中であることが報告されました。



←ワークショップの様子

……………まちのよいところ・改善したいところについての主なご意見……………

道路について

- 狭い道路が多く、つながりが悪い。
- まちづくりは道路づくりから始めることが重要。
- 大型車や消防車が入ってこれない。
- 鉄道立体化で駅がどこになるかで、道路計画が変わってくる。

公園について

- 公園ができることで困ることもでてくる。
- 補助276号線の整備で公園がなくなる。
- 災害時に活用できる公園がよい。

鉄道立体化について

- 正しい情報をいち早く教えてほしい！

まちづくりについて

- 地震にも水害にも安全なまちがよい。
- 今は静かで住みよい。
- 補助276号線の整備でまちは変わってしまうのでは？
- 住みよいまちを次世代に伝えたい。

★勉強会のスケジュール

- | | | |
|---------|---------------|---|
| ○第3回勉強会 | (平成23年12月3日) | まち歩きとワークショップ |
| ○第4回勉強会 | (平成23年12月15日) | 林試の森公園周辺の防災まちづくり(品川区)・
東京臨海広域防災公園(そなエリア東京)視察 |
| ○第5回勉強会 | (平成24年1月下旬) | 住宅地のまちづくり手法の学習 |
| ○第6回勉強会 | (平成24年2月頃) | 住宅地のまちづくり手法の学習 |
| ○第7回勉強会 | (平成24年3月頃) | 東京スカイツリー・曳舟駅周辺のまちづくり
(墨田区)視察 |
| ○第8回勉強会 | (平成24年3月頃) | 今年度のまとめ |

----- キリトリ線 -----

南地区のまちづくりや勉強会についてのお問い合わせ、勉強会ニュース第1号を読んでのご感想・ご意見などがありましたらお知らせ下さい。

お名前
FAX:



高砂地区開発協議会事務局
葛飾区役所 高砂地域整備担当
FAX : 03-3697-1660